

9 川崎市の現状はどうでしょうか？

東京都では感染者の増加がとまりませんが、先日の Q&A 2 の予想は外れたのでほっとしております。それでは、当院のある川崎市の現状はどうでしょうか。川崎市では、ホームページ上で PCR 陽性者の概略を公表しているのです、その報道資料¹⁾をもとに解析を行いました。

まず、4月20日現在で陽性者総数（発症者）は192名になりました。川崎市での報告も、月曜と火曜に少ない傾向があり、それを除いた PCR 陽性者数を4月1日から20日まで対数表示してみるとなだらかな増加傾向を認めます(図1)。これをもとに倍加時間をみると24.3日であり、4月30日の値は1日あたり18人と推定されました。

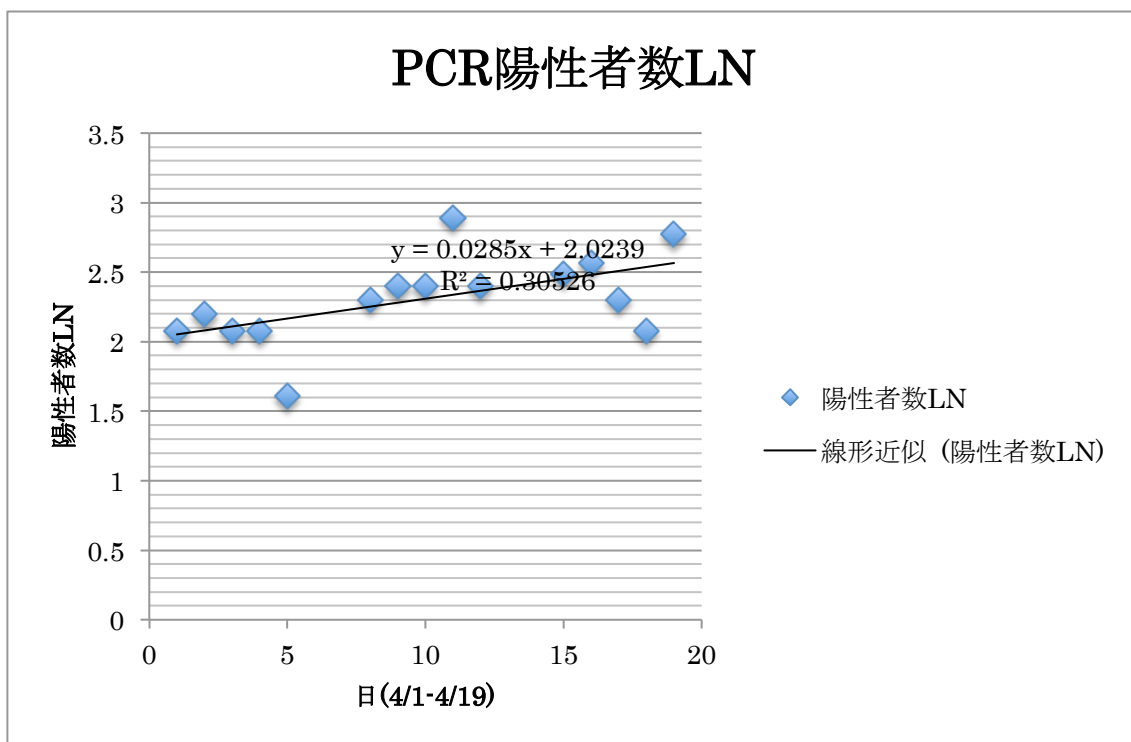


図1 PCR 陽性者数の推移（対数表示）（報道資料¹⁾をもとに作成 以下同様）

次に行政区ごとの人数を、人口10万人あたりで補正して表示すると、中原区(16)、宮前区(14)、幸区(14)の順で、高津区は11人でした(図2)。

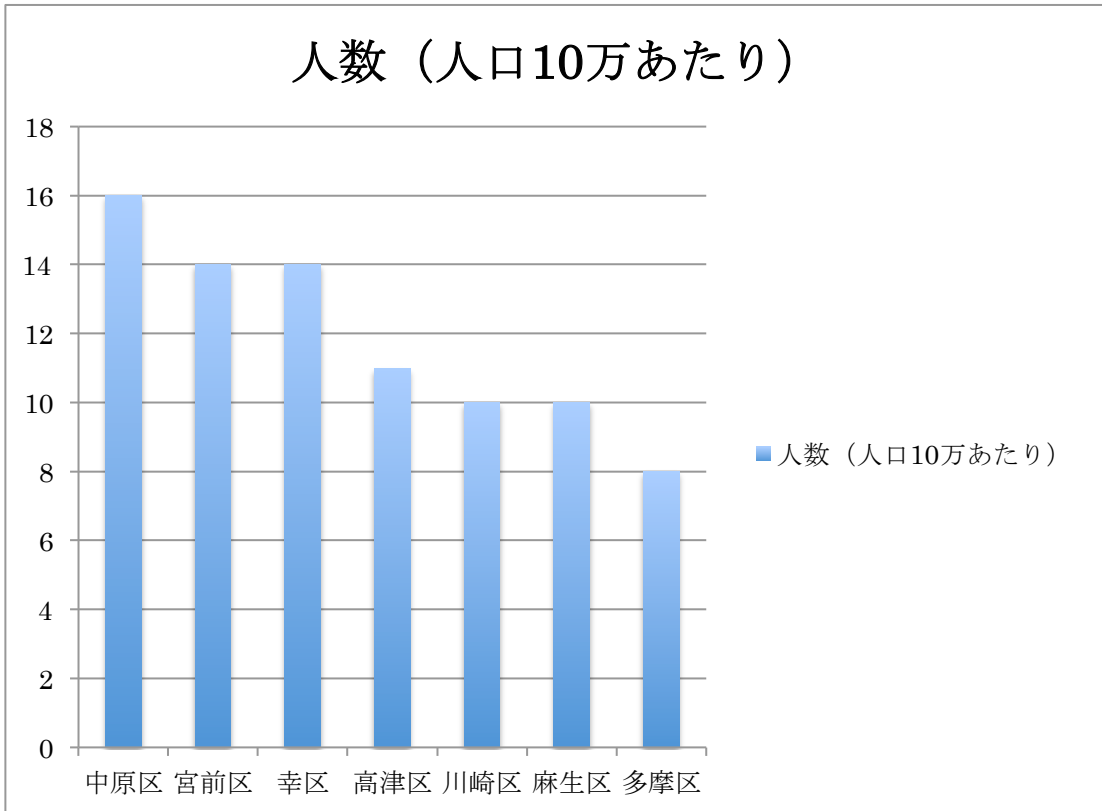


図2 川崎市の区ごとの陽性者数（人口10万あたりで補正）

ちなみに、都内では、港区(81)、新宿区(65)、渋谷区(50)の順で、繁華街を擁する地域に多いことが推測され、高津区の値は都内でいうと板橋区に相当します(4月20日現在の東京都資料²⁾により算出)。

次に川崎市での陽性者の年齢分布を見ると、30歳代が最も多く、20歳代から50歳代で全体の8割近くを占めます。逆に言うと、60歳代以上は少ないという結果でした(図3)。3月頃は海外渡航者からや家族内(同居含む)の報告が多かったのですが、最近では経路不明(調査中)が多いようです。

経過についての詳細は不明ですが、これまでのところ6名の死亡例がありました(死亡率3.1%)。若年層でも発症から1週間程度の短期間に亡くなる場合や、救急搬送後に死亡が確認され、のちに陽性が確認される場合もあるので、救急医療に携わるスタッフには注意が必要と考えられました。

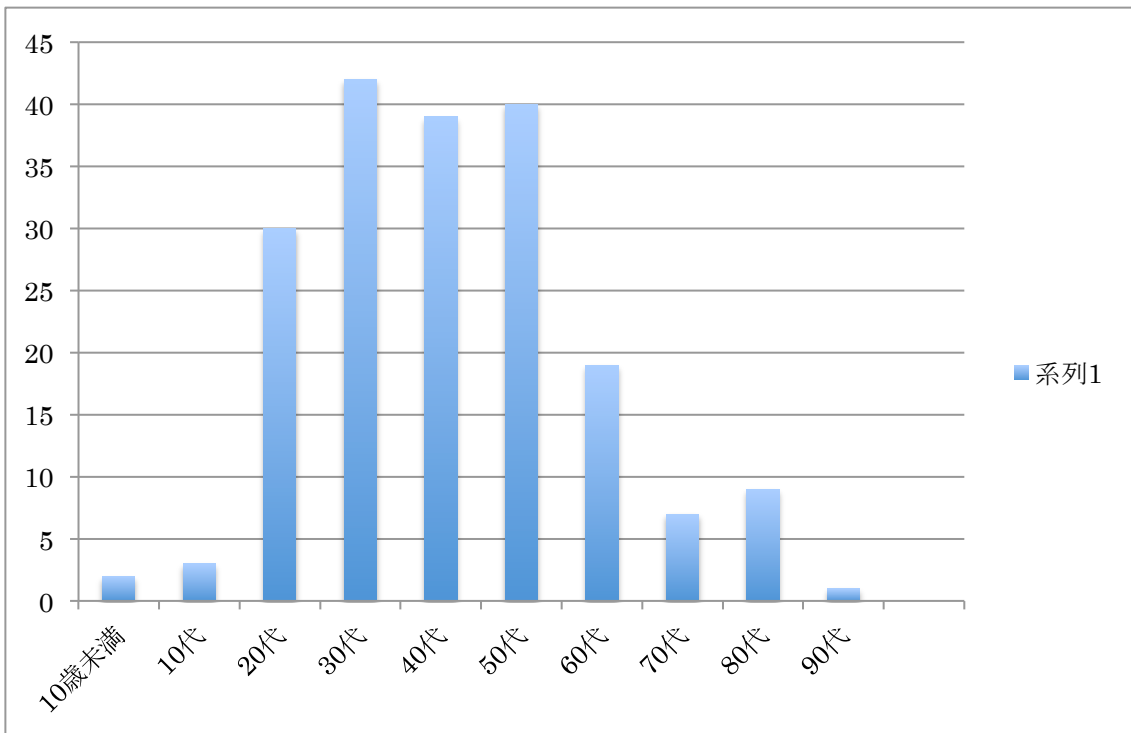


図3 年代別陽性者数（川崎市）

参考資料

- 1) <http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000115886.html>
- 2) <https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp>